COVID-19
挿管チェックリスト

Kameda Medical Center

物品

- □ 挿管チューブ
- □ McGRATH®
- □ ジャクソン-リース回路
- □ 人工鼻
- □ カプノメータ
- □ 換気用マスク
- □ リザーバーマスク
- □ ヤンカー吸引管
- □ カフシリンジ
- □ ブジー
- □ クランプ鉗子
- □ 飛沫防護具

計画:スタッフ内で共有

- □ 薬剤の選択
- □ 前酸素化のプラン
- □ 挿管困難時のプラン
  - ・Plan A:ビデオ喉頭鏡
  - ・Plan B: iGel®
  - ・Plan C: Surgical AW
- □ 役割を明確化
- □ 人員は最小限にする
- □ コミュニケーション手段 (室内-室外)

挿管前の準備：”COVID”で確認

C — **“Crash” Induction 迅速導入**
- □ RSIで行う
- □ バッグは揉まない
- □ 筋弛緩が確実に効いてから開始

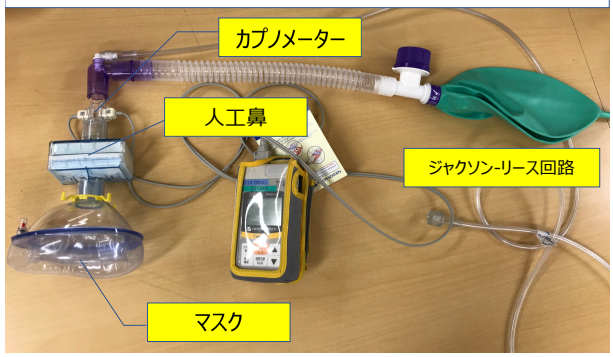
O — **Oxygenation 酸素化の手段**
- □ 最小限のガス流量 □ 3~5分 自発呼吸で
- □ リザーバーマスク 8LPM~>> J-L回路+マスクフィット
- □ HFNC, NIVは使用禁

V — **Videolaryngoscopy &Ventilator ビデオ喉頭鏡&人工呼吸器**
- □ McGRATH®を使用
- □人工呼吸器(PB840)は設定して一度OFF
  →挿管・接続後 ONして「同患者」で再開

I — **IV drug 薬剤**
- □ ケタミン 2mg/kg +/- プロポフォール
- □ ロクロニウム 1-1.2mg/kg
- □ フェニネフリン or NAd

D — **Droplet & Aerosol Protection 飛沫&エアロゾル防御**
- □ 最小限の人員 □ 空気感染用PPE
- □ J-L回路に人工鼻&カプノメータを装着（下図）
- □ 飛沫防護具（ビニル袋, アクリルボックス）

挿管後の注意点

- □ カフが入るまで絶対に換気しない
- □ 確認:EtCO2の検出で行う
  聴診は行わない
- □ チューブをクランプしてから呼吸器につけかえる
- □ 回路接続部はテープで補強
- □ 回路は極力外さない。外す時は
  - ・人工呼吸器をOFF ・ビニル袋で防御
  - ・チューブをクランプ

挿管時のジャクソン-リース回路